

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 24-1-107

補助事業名 平成24年度 学術・文化の振興のための活動 補助事業

補助事業者名 公益財団法人 ユニジャパン

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

日本映画産業の振興を目的として、海外に向けては国際映画祭への日本映画の出品支援や情報発信等の事業を行い、国内的には東京国際映画祭の開催を通じて、国際文化交流の促進と我が国の映像文化の発展を図ることをもって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

第25回東京国際映画祭の開催

(http://uni-japan.org/files/pdf/keirin2012_jigyougaiyou.pdf)

国際映画製作者連盟公認のアジア最大の国際映画祭として、六本木ヒルズ（東京・港区）をメイン会場に、平成24年10月20日（土）より10月28日（日）までの9日間、第25回東京国際映画祭を開催した。

東京国際映画祭を広く一般に周知させ、国際映画祭を盛り上げる為に、以下の広報活動を行った。

- ・ プレスセンターの設置と運営
- ・ 新聞広告の掲載、ポスター等街頭広告の制作設置
- ・ 予告編、作品の先付けフィルムの制作と劇場上映
- ・ モバイル用アプリケーション制作



①TOHO シネマズ六本木
ヒルズ 上映時
(上映前の先付)

© 2012 TIFF



②会場内ポスター掲示
六本木ヒルズ大屋根下他

© 2012 TIFF



③クロージング「感謝のタ
ベ」バックパネル 依田チ
ェアマン、高井理事長

© 2012 TIFF



④上映時Q & A （舞台換
拶時ポスター）

東京 サクラ グランブ
リ受賞作『もう一人の息子』
ロレーヌ・レヴィ（監督）、
ジュール・シトリユク（俳
優）、ヴィルジニー・ラコン
ブ（プロデューサー）

© 2012 TIFF

2 予想される事業実施効果

東京国際映画祭で賞を取った日本のインディペンデント映画が、これを皮切りに海外映画祭に出品されるという流れは年々強化されてきている。その結果、今まで以上に日本のクリエイターが海外へ出ていくプラットフォームとして、東京国際映画祭が意識されるようになってきている。

また、東京国際映画祭で上映した海外の映画がその後、国内配給権の販売につながる形も数多く出て来ている。「最強のふたり」はそのもっとも成功した例。

いずれも、東京国際映画祭という場に取り上げられる上映作品のクオリティの高さが評価されての事。引いては、東京国際映画祭が世界的な評価の発信基地になり得るし、今まで以上に映画産業全体の活性化も促すことになる。

3 本事業により作成した印刷物等

公式記録	5,000部
ポスター	1,550枚
都営交通駅貼りポスター	150枚
都営交通駅中吊ポスター	3,000枚

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益財団法人 ユニジャパン
(コウエキザイダンホウジン ユニジャパン)

住 所： 104-003
東京都中央区新川一丁目28番44号

代 表 者： 代表理事・理事長 迫本 淳一 (サコモトジュンイチ)

担 当 部 署： 総括管理部 総務グループ (ソウカツカンリブ ソウムグループ)

担 当 者 名： 統括プロデューサー 川崎 浩 (カワサキヒロシ)

電 話 番 号： 03-3553-4780

F A X： 03-3553-4785

E - m a i l： hiroshi.kawasaki@uni-japan.org

U R L： <http://uni-japan.org/>